

兵庫県医師会会報

○編集後記

平成 22 年 11 月号(通巻 685 号)

喧々囂々、侃々諤々、百家争鳴、議論百出、諸説紛々、異説紛々、口角泡をとばして、すったもんだの、波乱の議論が広報委員会では続いています。ただし、和気藹々とです。

県医師会で取り組んでいることの一つに、経費節減があります。このままでは近い将来、財政難に陥ってしまう可能性が高く、財政運営健全化に向けて議論を進めています。各委員会でも、活動の見直しをお願いしているところです。

中でも広報委員会は多額の経費を使っております。いろいろな活動をしているためですが、半分以上が県医師会報作成のための費用です。毎月、充実した紙面で 8000～9000 冊を作成し、会員の先生方全員に、そして国会図書館をはじめ関連するところへお配りしているのですから、経費がかかるのは当然といえます。

広報委員会としても経費節減に一所懸命に取り組んでおります。お気づきでしょうか、最近の会報が薄くなっていることを。決して紙面作りをサボっているわけではなく、経費節減のためです。次号は 12 月、1 月合併号とします。これも発行回数削減の取り組みの一つです。新年号となりますので、例年、新年のご挨拶をたくさんいただいて掲載しているのですが、ページ数削減の編集をいたしますので、ご理解いただきたいと思えます。景気の悪い話ばかりで申し訳ありません。

年に 2 回発行しているパルスも広報委員会の仕事です。カラフルな県民向けの小冊子が皆さんのお手元に届いているはずですが、読んでいただいていますでしょうか。これも、次回からは少しページ数を少なくします。そのほかにラジオ放送、セミナー開催などについても検討を続けております。説明をしますと、だんだん減入ってきます。

ただし、医師会執行部は、そして何より広報委員会の委員は対外広報、あるいは会員に向けての対内広報が大切なことは十二分に理解しております。そのために、限られた費用の中でどれだけ効果的な広報ができるかということでも頭を悩ましております。広報誌の内容も刷新して参ります。新しい企画も検討しています。また、先日は初めて近畿医師会連合広報担当理事連絡協議会を兵庫が主管で開催し、近畿各府県の医師会広報担当者との連携を強めていくことを確認しました。経費は削減しますが、広報活動は充実させて参ります。会員の先生方のご理解とご協力をお願いいたします。

ところで、黄色い新幹線をご存じでしょうか。委員会が終わって夕方に新神戸駅のホームにいと、全身真っ黄色の新幹線が入ってきました。ホームにほんのちょっと居ただけで、間もなく、するするっと出て行きました。思わず携帯でパチリ。これが噂の黄色い新幹線。見かけると幸せになるという都市伝説がある新幹線。実は通称ドクターイエローと呼ばれる新幹線電気軌道総合試験車のことで、東京～博多間を概ね 7～10 日おきに走行しています。しかし、その運転日やダイヤは一切公表されていません。これから、どんないいことがあるのか楽しみです。